**・コマンド履歴を削除する(sudo　history 　–c　)**

**・クラス名出席番号の部分の例は、ie2a99の表記になっている部分があります**

**●実習１０-１．演習　コマンド練習　（※練習時作成されたユーザー情報は、課題に影響します）**

**（１）コマンド操作練習１**　「 root 」 ユーザーの状態を確認する　　 　↓入力コマンド

1. ログインユーザーのUIDを確認する　　　　　　　　　　　  **id**

②ログインユーザーが所属するグループを確認する　　　　　　  **groups**

③ユーザー情報が記録されているファイルの内容を確認する　  **cat /etc/passwd**

1. パスワード情報が記録されているファイルの内容を確認する　  **cat /etc/shadow**

→　許可がありません。　　　　　　・・・**rootユーザーしか開けない**

⑤パスワード情報が記録されているファイルの内容を確認する　  **sudo cat /etc/shadow**

**（２）コマンド操作練習２**　ユーザーを操作する

①「chiro」 ユーザーを新規で作成する　（オプション指定なし） **sudo adduser chiro**

　 「chiro」ユーザーのパスワードを「chpass01」に設定する

②「chiro」ユーザーに切り替える　　　　　　 　　　　　　　　　　 **su - chiro**

→　パスワード：「 chpass01 」 でログインする。

プロンプト　→　**［chiro@ie2a99 ~］$**

③カレントディレクトリを表示する **pwd**

④ログインユーザーのUIDを確認する　　　　　　　　　　　　　　  **id**

1. ユーザー情報が記録されているファイルの内容を確認する　  **cat /etc/passwd | grep chiro**

⑥「chiro」ユーザーをログアウトする　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　**exit**

1. 「 root 」ユーザーに切り替える。 　　　　　　　　　  **sudo su -**

**（３）コマンド操作練習３** 　グループを操作する（rootユーザーでログインしたまま操作する）

1. 「wonder」グループを作成する **addgroup wonder**

　②グループ情報が記録されているファイルの内容で「wonder」の存在を確認する　**cat /etc/group**

③「alice」 ユーザーのプライマリグループを「wonder」で新規作成する、パスワードは「123qwe」。

**adduser alice**

**usermod -g wonder alice**

④ユーザー「alice」が所属するグループを確認する　　　　　　  **groups alice**

　⑤ユーザー情報が記録されているファイルの内容で、「alice」の存在を確認する

**cat /etc/passwd | grep alice**

⑥ディレクトリ「/home」にホームディレクトリが作成されていることを確認する**ls /home**

　⑦「alice」ユーザーのパスワードを「ecc」に設定する **passwd alice**

**※よくないパスワードのメッセージが表示されるが、eccで登録する**

⑧一時的に「alice」ユーザに切り替え、シェル環境もaliceにする　　　　　**su - alice**

プロンプト　→　**［alice@ie2a99 ~］$**

⑨カレントディレクトリを表示する **pwd**

⑩一時的に「alice」ユーザに切り替え、シェル環境もaliceにする　　　　　**su - alice**

⑪元のユーザ（alice）に戻る 　　　　 **exit**

⑫元のユーザ（root）に戻る 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　**exit**

⑬シェル環境は変えずに一時的に「alice」ユーザに切り替える　　　　　　 　　**su alice**

⑭カレントディレクトリを表示する **pwd**

⑮元のユーザ（root）に戻る　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 **exit**

⑯「alice」ユーザーをホームディレクトリも一緒に削除する　　　　　 　　　  **userdel –r alice**

⑰「wonder」グループを削除する 　　  **delgroup wonder**

⑱ ⑤、⑥を再度行い、ユーザー、ホームディレクトリ共に削除されていることを確認する

⑲ ②を再度行い、グループが削除されていることを確認する

**（４）コマンド操作練習４** 　ユーザー情報を変更する

①「test」グループを作成する **addgroup test**

　②グループ情報が記録されているファイルの内容で「test」の存在を確認する

**cat /etc/group | grep test**

1. 「chiro」 ユーザーの**セカンダリグループを**「test」に設定する

**usermod -aG test chiro**

④「chiro」 ユーザーのUIDを確認し、所属グループが追加されていることを確認する **id chiro**

⑤「utest」 ユーザーを新規で作成する　（オプション指定なし） **adduser utest**

パスワードは「123qwe」。

⑥「utest」の所属グループを確認する　　　**groups utest**

1. 「utest」 ユーザーの**プライマリグループを**「test」に設定する

**usermod -g test utest**

1. 「utest」 ユーザーのUIDを確認し、所属グループが追加されていることを確認する **id utest**

　⑨「utest」ユーザーをホームディレクトリも一緒に削除する　　　　　 　　　  **userdel –r utest**

1. 「test」グループを削除する　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  **delgroup test**

**●実習１０-２．演習　課題**

**・順番に実習し、入力コマンド、及び画面に表示された結果を記入する。**

**・「ホームディレクトリ」は、ログインユーザーのホームディレクトリ（/home/クラス名番号）を示します。**

**（１）現在登録されているユーザーについて、確認する。**

1. コマンド履歴を削除する

**History -c**

**su - chiro**

②　一時的にログイン状態をchiroに変更し、シェル環境もchiroにする

プロンプト　→　**［chiro@ie2a99 ~］$**

**pwd**

③ カレントディレクトリを表示する。　 画面表示内容→　　/home/chiro

④　ユーザー情報が登録されているファイルの内容を表示し**「 chiro 」に関する情報を確認する**

**cat /etc/passwd | grep chiro**

**「 chiro 」の行→** chiro:x:1001:1001::/home/chiro:/bin/bash

⑤　グループ情報が登録されているファイルの内容を表示し、**「 chiro 」に関する情報を確認する**

**cat /etc/group | grep chiro**

**「 chiro 」の行→**chiro：x：1001：

**（２）ユーザー、グループを操作**

**exit**

①元のユーザ（クラス名番号）に戻る

プロンプト　→　**［ie2a99@ie2a99 ~］#**

②　カレントディレクトリをログインユーザーのホームディレクトリ(/home/ie2a99)へ移動する

**~**

**Ls**

③　カレントディレクトリを表示する

**Sudo Adduser unix10**

④　新規ユーザー「unix10」 を作成する　（オプション指定なし）

　「unix10」ユーザーのパスワードのパスワードを「ecc」(eccで登録できない場合は「123qwecc」)に

設定する

⑤　ユーザー情報が登録されているファイルの内容を表示し、「unix10」ユーザーを確認する。

**「 unix10 」の行→** unix10:x:1002:1003::/home/unix10:/bin/bash

**cat /etc/passwd | grep unix10**

⑥　ディレクトリ「/home」に「unix10」ユーザーのホームディレクトリが作成されていることを確認する

**ls /home**

**groups unix10**

⑦　「unix10」ユーザーの所属グループ名を表示する

画面表示内容 →　　　unix10: unix10

**Sudo addgroup unix**

⑧　新規で、「unix」グループを作成する。

⑨　登録されているグループ情報を表示し、「unix」グループが登録されたことを確認する。

**cat /etc/group | grep unix**

**「 unix 」の行→**unix:x:1004:

1. 「unix10」ユーザーの**プライマリグループ**を「unix」（⑧で作成したグループ）に変更する。

**usermod -g unix unix10**

⑪　「unix10」ユーザーの所属グループ名を表示し、変更を確認する。

**Groups unix10**

画面表示内容 →　　 unix10 : unix

⑫　「unix10」ユーザーのUIDを確認し、所属グループを確認する

**Id unix10**

画面表示内容　→　 uid=1002(unix10) gid=1004(unix) groups=1004(unix)

**（３）提出前の準備**

**Mkdir kad10**

1. 「kad10」ディレクトリを作成する

②カレントディレクトリを「kad10」に変更する

**Cd kad10**

③コマンドの履歴を「kad10.txt」の名前で保存する

**history > kad10.txt**

④カレントディレクトリのファイル一覧を表示し確認する

→ 「kad10.txt」があればOK

⑤所有者を変更する **chown -R ie2a99:ie2a99 /home/ie2a99/kad10**

**●課題提出**

（1）Tera Termをいったん終了して、本日のログが記録されているか確認する。

　　　 ファイル名：クラス番号日付.log

（2）cat kad10.txtコマンドでファイルを表示してコピー、PC上でペーストしてkad10.txtで保存する。

（3）上記の2つのファイルを「**演習10\_クラス名出席番号名前」フォルダを作成して保存し**sv23へ

提出する。